

令和7年度(2025年度)第2回

国民健康保険運営協議会議事録

日 時： 令和8年(2026年)2月5日(木) 午後4時
場 所： 熊本城ホール3階 中会議室 B1・B2・B3

熊本市国民健康保険運営協議会

令和7年度(2025年度) 第2回国民健康保険運営協議会議事録

1 開催日時 令和8年(2026年)2月5日(木) 午後4時～

2 開催場所 熊本城ホール3階 中会議室 B1・B2・B3

3 議事

1 令和8年度国民健康保険料率等について(諮問)

2 その他

4 出席者

寺本委員 山本委員 山内委員 谷口委員 井上委員 田中委員
齊藤委員 石橋委員 安田委員 平島委員 紫垣委員

計 11名

5 欠席者

宮本委員 宮崎委員 村山委員 西村委員 甲斐委員 富田委員
陳野委員

計 7名

6 事務局

林健康福祉局長 吉村健康福祉局総括審議員 石元健康福祉部長
吉本国保年金課長 高木国保年金課副課長

計 5名

7 傍聴人 0名

8 議事録署名委員

谷口委員 安田委員

1 開会

2 寺本会長挨拶

3 林健康福祉局長挨拶

4 諮問書手交

・林健康福祉局長より寺本会長へ諮問書を手交

5 議事

【寺本会長】

・本日の会議の議事録の署名委員を谷口委員と安田委員のお二人にお願いしたいと思います
が、よろしいでしょうか。

<異議なし>

・お二人にはよろしく願いいたします。

・先ほど熊本市から諮問いただきました「令和8年度国民健康保険料率等について」の審議に入
ります。事務局からの説明を求めます。

【事務局】

・「資料1 熊本市国民健康保険運営協議会 諮問事項説明資料」について資料に沿って説明。

<説明の概要>

○県算定標準保険料等の概要について

・県全体及び本市の被保険者数・一人当たり保険料等について説明

⇒被保険者数の大幅減、一人当たり保険料の減額、子ども・子育て支援金の創設、県繰越
金の活用 等

・県内他自治体との一人当たり保険料の比較

⇒本市は県平均よりも一人当たり保険料は高いが、前年度よりも差が縮まっている。

・県の被保険者数見込みは、例年、市の見込み及び実績を大きく上回る傾向にあったが、推
計方法を変更したことに伴い、今回、市の見込みとほぼ同等となった。よって、今回の保険料
算定においては、被保険者数の見込みは県のをそのまま採用する(市独自の補正を入
れない)。

○令和8年度保険料率について(諮問事項1, 2)

・令和8年度保険料は、県標準保険料に応能・応益割比率のみ1:1⇒所得係数 β :1に調整を入れたものとする。

⇒応益割に対しては減免措置があり、 β :1にして応益割の割合を高くすることで、減免の恩恵が大きくなるため。所得が低い方に配慮したものとしている。

・一人当たり保険料は114,414円と前年度比4,631円の減となる。

○賦課限度額の見直しについて(諮問事項3)

・国の見直しにあわせ、医療分(基礎分)の賦課限度額を1万円引き上げるとともに、子ども分の3万円を追加し、合計で賦課限度額を109万円⇒113万円(+4万円)とする。

○保険料軽減判定所得基準の見直しについて(諮問事項4)

・国の見直しにあわせ、保険料軽減判定所得基準を引き上げる。

【寺本会長】

・ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問はございませんか。

【山内委員】

・今回は保険料が下がるが、以下の要因により、令和9年度以降に再び保険料が上がることを懸念している。

・医療分が大幅に減っているのは今年だけではないか

・子ども分が今後上がるのではないか

・県繰越金は来年度以降続けて活用してもらえるか不明

【吉本国保年金課長】

・医療分は高齢化に伴い、今後も伸びる可能性はあるが、今回伸びが鈍化していることや、前期高齢者交付金が増えており、今後も同様の状況が続くのではないかと考えている。

・子ども分についてはそこまで大きくは変わらないと考えている。

・県繰越金については今後も、必要に応じて同様の措置を取っていただくよう、県に要望していきたいと考えている。

【山内委員】

・収納率は、令和6年度が91.44%と前年度から改善されていない。令和12年度の県下保険料統一に向けて、特に熊本市の収納率は県下全体に与える影響は大きく、収納率の向上が急務である。

- ・収納率向上のためには人員の確保とともに、職員のスキルアップが必要であると思うので、人事部門に働きかけてほしい。
- ・収納率向上のための取組について教えてほしい。

【吉本国保年金課長】

- ・収納体制の強化に向けて人員要求は行っているものの、市全体として人員確保が厳しいこともあり、令和6年度から7年度にかけて体制強化がなされたとは言い難い状況である。
- ・ただし、令和8年度より収納業務及びコールセンターの委託内容を見直したところ。具体的には、現在職員が行っている収納関係業務等の一部を委託化することで、職員が収納業務に注力できるように体制強化を行うもの。

【山内委員】

- ・委託化自体はいいことだと思うが、ただ委託するだけではあまり意味がなく、市が委託先をサポートし、方向性を指し示すことが重要だと思う。
- ・そのためには、収納のプロフェッショナル、エキスパートを育成して、マネジメントする能力をつける必要があると考える。

【紫垣委員】

- ・資料1、1ページ目の県全体と市全体でそれぞれ国県補助金があるが、どういう違いなのか。
- ・一般会計繰入金の金額の制限や繰入の条件などはあるのか。
- ・滞納者へのペナルティなどはあるのか。
- ・収納率は理想としては100%が一番良いが、そのために労力や費用がそれ以上にかかっては意味がないので、どのあたりが費用対効果が最も高い数字なのか。

【吉本国保年金課長】

- ・国から県に入ってくる補助金が県全体のものである。また、県から市に入ってくるもの、例えば特定健診の受診率に応じて入ってくる保険者努力支援などが市のものである。
- ・一般会計繰入金は、法定のものと法定外のものがあり、法定外には例えば独自減免などがある。
- ・滞納者については、財産の差し押さえを行っているほか、例えば滞納を行うと一時的に高額医療が受けられなくなる、などのペナルティもある。

【紫垣委員】

- ・収納率向上対策については、費用対効果の面からも、こういう取組をしっかりと行っていますという説明をできるようにしておいてほしい。

【山本委員】

- ・標準保険料は下がる方が望ましいのか。
- ・資料1、3ページ目の宇城市はなぜ保険料が上がっているのか。

【吉本国保年金課長】

- ・標準保険料は下がる方が望ましいと考える。
- ・他都市の保険料増減の要因については精緻に分析できていないため、宇城市の増加理由については分かりかねる。

【山本委員】

- ・宇城市も医療費の伸びを考慮して保険料が上がっているのか。

【吉本国保年金課長】

- ・保険料の算定方法は他自治体も全て同様である。

【山本委員】

- ・そうであれば来年度、熊本市も医療費が伸びれば、宇城市と同じように保険料が上がることもあり得るのか。

【吉本国保年金課長】

- ・状況次第であるが、そういうこともあり得る。

【寺本会長】

- ・熊本市は収納率は現状 91.44%にも関わらず黒字となっているので、もし 100%になればかなり大きな黒字となるのか。

【吉本国保年金課長】

- ・保険料の算定上、仮に収納率を 100%で設定してそれを下回った場合、大きく赤字となるため、国のガイドラインに従い、標準保険料算定においては過去3か年の収納率の平均で算定しているもの。

【寺本会長】

- ・水俣市は保険料が平均よりもかなり低いが、統一できるのか。

【吉本国保年金課長】

- ・水俣市の保険料が低いのは地域性も関係している。

- ・県下で保険料を統一すれば、県全体として補助金も入ってくる。
- ・県としても、保険料統一に向け、各自治体と協議を行っているところ。

【寺本会長】

- ・議事は以上となりますが、その他に何かございますか。

<なし>

- ・貴重なご意見・ご提案をいただきまして、ありがとうございました。
- ・それでは、「令和8年度国民健康保険料率等について」の諮問につきましては、諮問どおり答申したいと思います。ご了承いただけますでしょうか。

<異議なし>

- ・異議がないようですので、令和8年度国民健康保険料率等の諮問につきましては、諮問のとおり承認することといたします。
- ・答申書の文案につきましては、会長に一任ということをお願いしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

<異議なし>

- ・ありがとうございました。それでは、議事進行を事務局にお返します。

【事務局】

- ・寺本会長、ありがとうございました。これもちまして、国民健康保険運営協議会を終了いたします。熱心なご討議とご提言をいただき、誠にありがとうございました。

8 閉会

令和8年(2026年)2月5日

熊本市国民健康保険運営協議会

議長

寺本義勝

署名委員

谷口美樹

署名委員

安田二郎